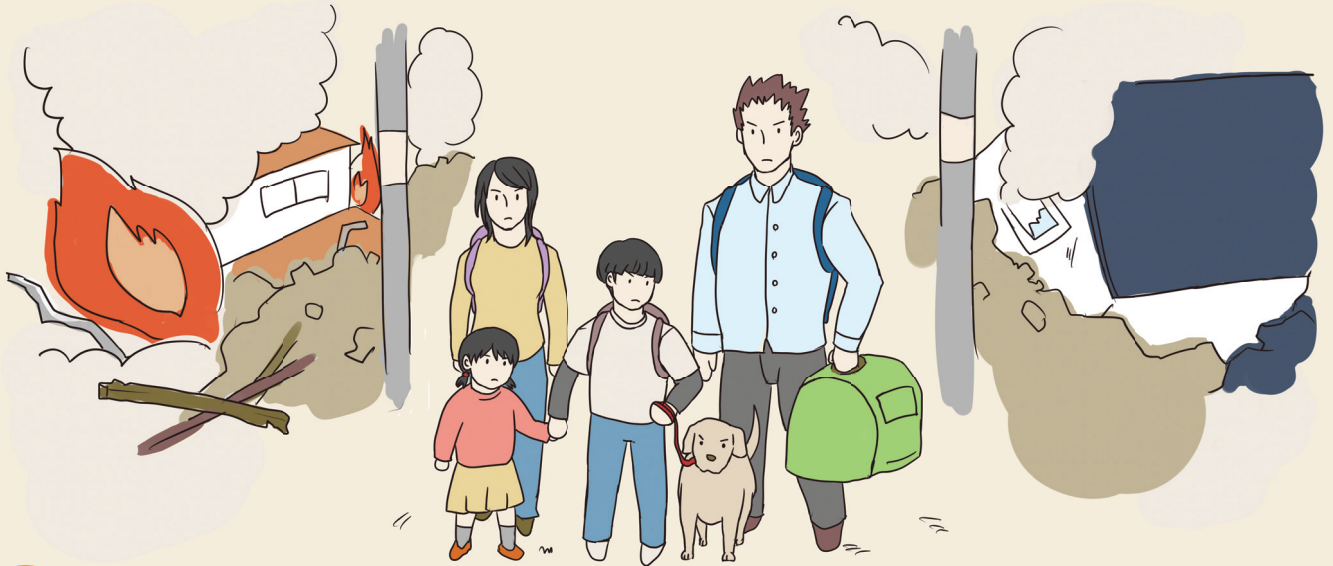


# ペットの「災害対策」

～いざという時、家族とペットを守るために～

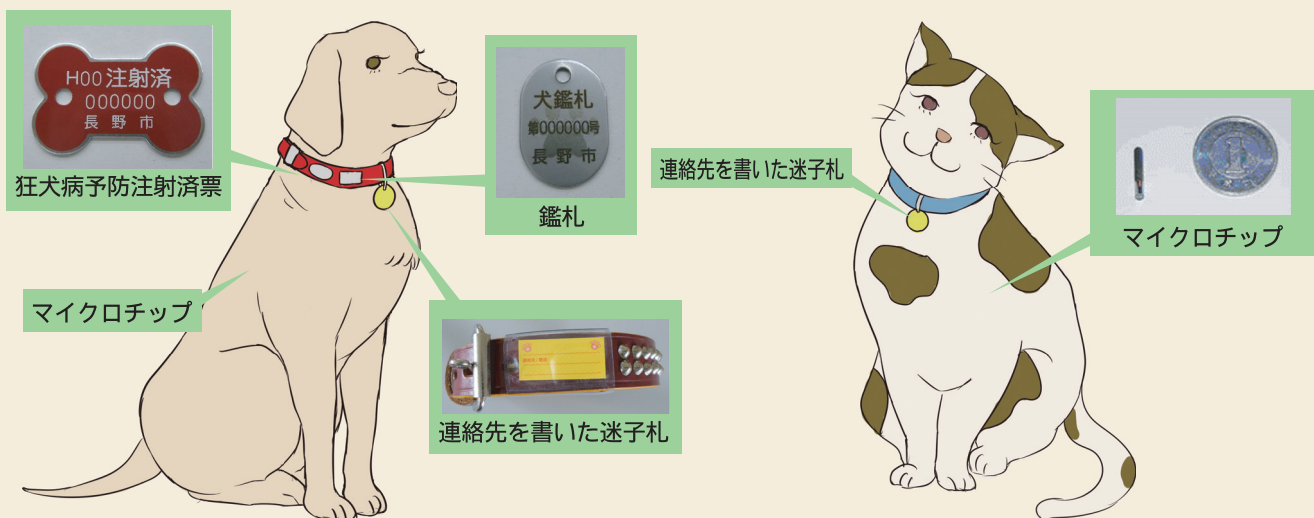
災害は突然起こります。飼い主は、家族とペットを守るために日頃からの準備と心構えが必要です。また、万が一、避難所生活をしなければならなくなった場合においても、動物が周りの人の迷惑にならないよう、平常時からしつけなどを行いましょう。



## ☑ 日頃からの心がけ

### 迷子札などの装着

災害時にはペットと離ればなれになってしまうことがあります。迷子のペットが飼い主のもとに戻るように、日頃から飼い主の氏名や連絡先を記入した迷子札をつけておきましょう。犬の場合には、鑑札と狂犬病予防注射済票を必ず首輪に装着しましょう。また、首輪がはずれてしまったときのために、マイクロチップを埋め込むことも考えましょう。



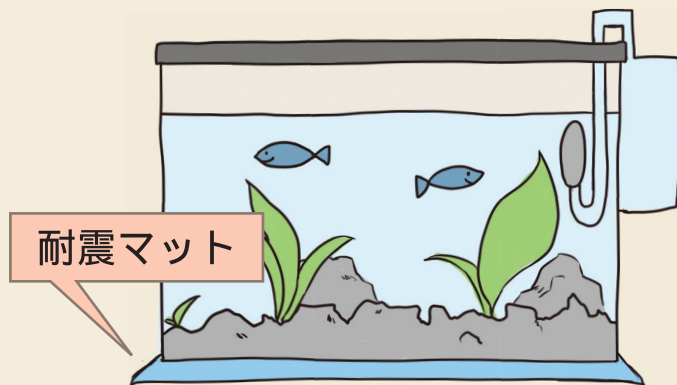
<マイクロチップ>

直径2mm、長さ約8～12mmの円筒形の電子標識器具で、15桁の数字（番号）が記録されています。一度体内に埋め込むと、脱落することはほとんどなく、データが書きかえられることもない確実な証明となるため、動物の個体識別（身元証明）の方法として、世界中で広く使われています。動物病院で埋め込むことができます。

## 住まいの防災対策

地震のときに、ケージや水槽が転倒しないようしっかりと固定しましょう。

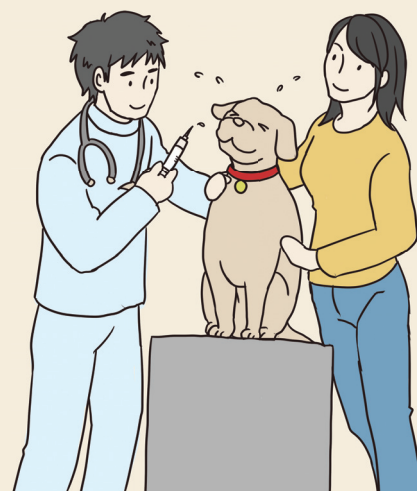
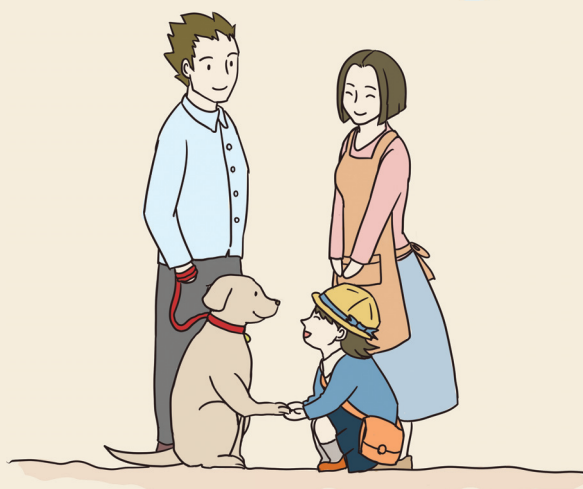
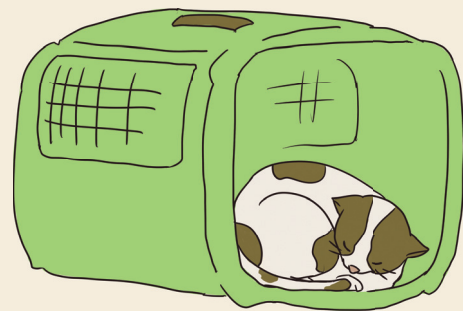
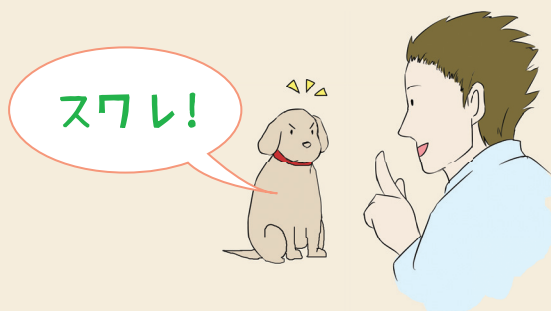
屋外で飼育する場合は、転倒の可能性があるブロック塀やガラス窓の下は避けましょう。また、首輪や鎖は外れたり切れたりしないか定期的に点検しましょう。



## しつけと健康管理

避難所等では、指定された飼育場所で、他の動物と一緒に生活することになります。日頃からクレートやケージ等に入れるトレーニングや、他人や他の動物になれさせるトレーニングをしましょう。犬には、スワレ、フセ、マテ等のしつけを行いましょう。保健所では毎月1回「愛犬の正しい飼い方しつけ方教室」を実施していますのでご相談ください。

避難場所での感染症防止のため、必要なワクチンを接種しておきましょう。犬には、狂犬病予防注射を毎年必ず接種しましょう。



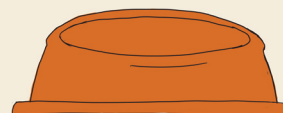
## 預け先の確保

ストレスに弱い動物、温度管理が必要な動物などは、避難所での飼育は困難です。万が一の場合の預け先として、親戚、友人に相談しておきましょう。

## ペットのための防災用品

被災時のフードや飲料水は飼い主の自己管理となります。人間と同様に家庭内での備蓄が必要です。

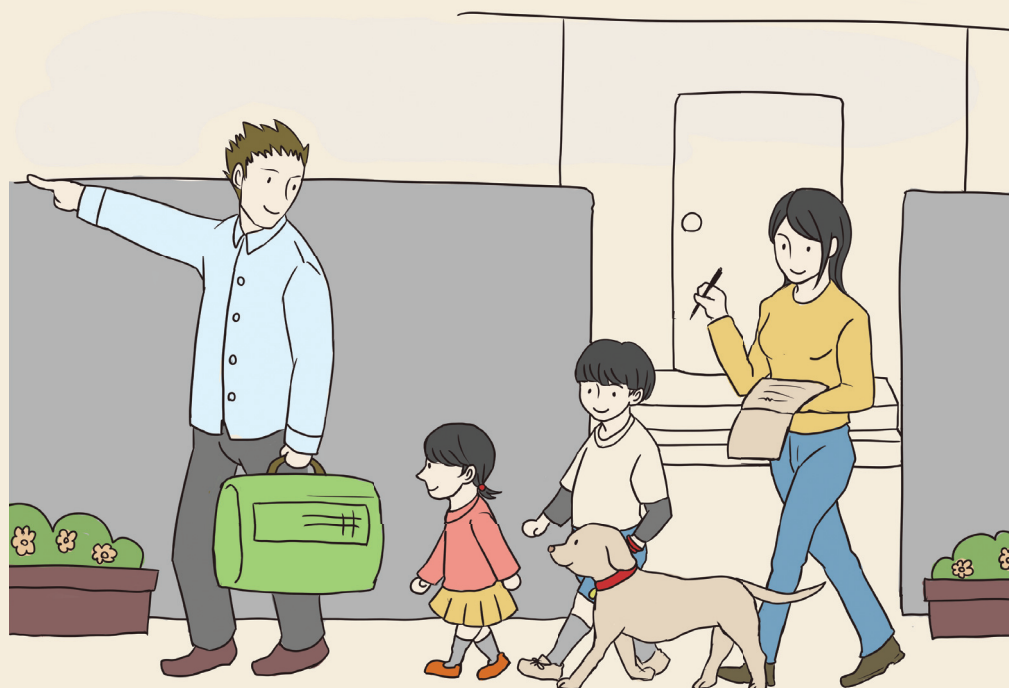
- フードと水 (最低5日分)
- 常備薬、療法食  
(災害時には手に入りにくいのでゆとりをもって)
- 食器
- トイレ用品 (ペットシート、猫砂など)
- ケージ、キャリーバック
- 首輪とリード
- 動物の写真と飼育記録



動物の写真は、家族と一緒に写ったものを数枚用意しておくことで飼い主を特定する際に役立ちます。又、動物の情報を詳しく書いた手帳（ワクチン接種状況、既往歴、かかりつけ動物病院など）を用意しておきましょう。

## 地域での取り組みについて

避難場所での動物飼育場所を、あらかじめ決めておきましょう。また、地域の避難訓練で、動物との同行避難訓練を検討しましょう。





# ✔ 災害が発生したときの対応

## 避難する時

落ち着いて、動物と避難しましょう。防災用品を携帯しましょう。

## 避難所での動物飼育

動物の苦手な方やアレルギーの方もいるので、多くの被災者が避難する体育館、教室等での飼育は困難です。飼育場所は、グラウンドや屋根のあるテラス等の屋外が指定されます。

また、鳴き声、臭いや抜け毛等、普段以上に周囲への配慮も必要となります。全避難者の理解が得られるよう、マナーとルールを守って飼育しましょう。

動物の世話や飼育場所の管理は、飼い主が行います。「飼い主の会」をつくるなどして、飼い主同士で協力しましょう。飼育動物は、名札をつけ所有者明示をしましょう。



## 避難所における飼育管理のルール

- 1 ペットは指定された場所で、ケージやクレートに入れるか、支柱などに繋ぎとめるかして飼育しましょう。
- 2 飼育場所の管理（清掃等）は、飼い主が責任をもって行いましょう。
- 3 飼育場所やケージ等は清潔にし、必要に応じて消毒を行いましょう。
- 4 給餌は時間を決めて、その都度片付けましょう。
- 5 ペットの排泄は決められた場所で行い、フンは飼い主が適切に処理しましょう。
- 6 避難所のペットの生活を維持するため、飼い主が共同で行う作業がありますので、互いに協力しましょう。
  - ① 飼育場所全体と周辺区域の清掃・消毒
  - ② 廃棄物・汚物の処理
  - ③ 支援物資（ペットフード、ペットの日用品等）の搬入・仕分け・配分 など
- 7 その他、各避難所での注意事項を遵守しましょう。